



DiamondKey.kext

1. DiamondKey とは

「DiamondKey」は Mac OS X にダイヤモンドカーソル機能を追加するユーティリティです。ダイヤモンドカーソルとは control キー+E/X/S/D キーを上下左右カーソルキーと同じように働かせることで、左手だけでカーソル操作をできるようにする機能です。Mac ユーザーには馴染みの薄いものかもしれませんが、コマンドラインベースのシステムや、テキストエディタなどではダイヤモンドカーソル機能を持つものが少なくありません。慣れると非常に便利なこの機能を Mac OS X のあらゆるシーンで利用できるようなれればと思い、DiamondKey は誕生しました。

2. DiamondKey の機能

DiamondKey には次のような機能があります。

ダイヤモンドカーソル機能の追加

DiamondKey は次のキーコンビネーションをカーソルキーや page up/page down キーに割り当てます。

control キー+E キー	↑キー
control キー+X キー	↓キー
control キー+S キー	←キー
control キー+D キー	→キー
control キー+R キー	page up キー
control キー+C キー	page down キー
control キー+H キー	delete キー

カナ/かなキーを command キーに変更

日本語 JIS キーボードのスペースキーの右とりにあるカナ/かなキーを command キーとして使えるようにします。スペースキーの右側に command キーのない iBook/PowerBook などでは便利だと思います。

英数キーを `/~ キーに変更

日本語 JIS キーボードのスペースキーの左とりにある英数キーを `/~ キーとして使えるようにします。アップル標準キーボードを使っていた人にとってはお馴染みのキーポジションだと思います。

3. DiamondKey のインストール

DiamondKey は次のようにしてインストールします。

1) コンフリクトの恐れのあるファイルを外

DiamondKey と同等の機能を持つファイル（キーの入れ替えを行う kext）は外しておいてください。「DoubleCommand」「SwapCommandOption」「Kappa」「Tesla」などは DiamondKey と同じように「iJect」をベースにしているので同時に使うことはできません。これらをインストールしている場合は、それぞれのマニュアルを読み、アンインストールしてください。

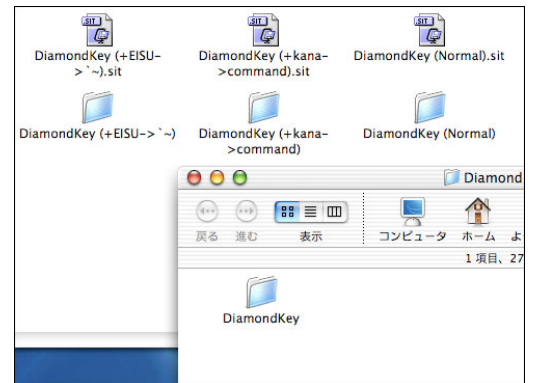
2) 圧縮ファイルを伸張（解凍）する

ダウンロードした DiamondKey の圧縮ファイルを伸張（解凍）してください。圧縮ファイルは Stuffit 形式（.sit）となっているので、Mac OS X のユーティリティフォルダに入っている「Stuffit Expander」で伸張（解凍）可能です。

3) DiamondKey フォルダをシステムにコピーす

圧縮ファイルを伸張（解凍）すると、「DiamondKey (Normal)」や「DiamondKey (+kana->command)」、「DiamondKey (+EISU->~)」といったフォルダができます。どのフォルダの中にも「DiamondKey」というフォルダがあります。この DiamondKey フォルダをシステムにコピーし

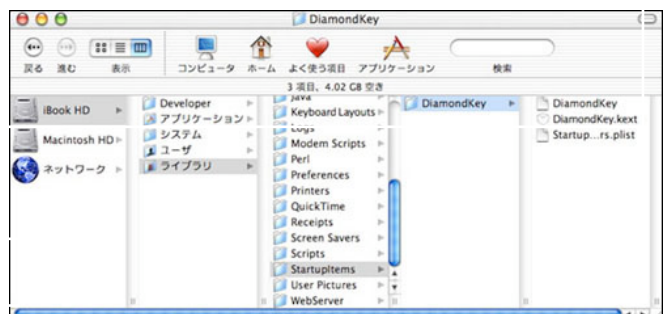
ます。



コピー先は/Library/StartupItems です。起動ディスクを開き、そこにある「Library」（日本語表記だと「ライブラリ」というフォルダを開き、その中の「StartupItems」というフォルダに DiamondKey フォルダを入れます。StartupItems フォルダがない場合は名前を間違えないように作成してください。

なお、この作業は「管理者」の権限をもつユーザーでなければできません。

最終的に上のような状態になるようにインストールします。



4) 再起動する

最後に再起動をします。ログオフでなく、再起動です。再起動後、DiamondKey は機能しはじめます。Mac OS X 10.2 だとインストール直後に警告メッセージが出てきますが、「修復して使用する」を選んでください。